

茨城県パイロット事業

【運送事業者による「配送計画」の見直しと、荷主による荷役作業の内製化】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

<参加集団>

- 発荷主
(株)LIXIL筑波工場
- 元請利用運送事業者
(株)LIXIL物流(車両なし)
- 下請実運送事業者
(株)関商運輸
- 着荷主
着荷主の実証実験参加については検討中

<内容>

- 荷種
家庭用浴槽等
- 発地
(株)LIXIL筑波工場
- 着地
建築現場、販売店倉庫等

課題の洗い出し
解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

- 手待ち時間関係
 - 関商運輸の「配送計画」に対して、「配送実態」に遅延が生じた場合、入構指定時間に戻って来れず、遅れが累積して「待ち」が累積。
 - LIXIL物流が「入構指定時刻」を決定しているが、標準生産能力を上回る発注が来た場合の「前倒し生産」も十分まかなえきれず「待ち」が発生。
- 荷役作業関係
 - 積込作業はLIXIL物流内製化に切り替え途中のところ、現状のLIXIL物流作業者スキルが十分でない。
 - LIXIL物流に内製化されていない作業「まとめ作業」があり、未だドライバーが作業をしている。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

- 手待ち時間の縮減
 - 関商運輸において、日々配送状況をモニタリングして、フレキシブルに配車を切替え。
 - 生産部と連携し、生産能力を考慮上、より精度の高い「入構指定時刻」を決定。
- 荷役作業の見直し
 - 作業工程ごとの役割分担も含めた「作業標準」を作成し、LIXIL物流作業者のスキル向上・標準化を図る。
 - LIXIL物流作業者の増員により「まとめ作業」もLIXIL物流内製化。

実験結果検証

9~1月

2月

3月以降



戸建て向けは「モジュール化」



集合向けは複数人で「積み込み」



「積み込み」待ち車両